

【令和4年度 授業改善推進プラン】

板橋区立高島第五小学校

【外国語】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学年の児童は、意欲的に取り組む児童が多い。 ・ 高学年の児童は、ゲームやアクティビティには意欲的に取り組むが、全体の前で発表するのを苦手とする児童も多い。 ・ 単語を読んだり、書いたりするのが十分に定着していない児童が見られる。 ・ 学習したことを活用しようとするあまり、話す際に文法を意識しすぎてしまい、話すのが消極的になる児童が見られる。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ A L Tの先生と学級担任とが十分に打ち合わせをする時間が確保できていない。 ・ ゲームに熱中するあまり、外国語を話すことがおろそかになってしまい、学習のねらいを十分に達成できない場合がある。 ・ 既習事項の学習が十分に定着できておらず、書くのが苦手であったり、話すのに消極的になったりしてしまう場合がある。 ・ マスクを着用しての学習のため、口の動きなどを確かめたり、正確に発音したりするのが難しい。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ I C Tを活用し、A L Tの先生とオンライン上で次回の打ち合わせができるようにしたり、早めに連絡を図ったりしながら、計画的な授業が展開されるようにしていく。 ・ ゲームをする目的を児童にきちんと伝え、児童が進んで学習内容を楽しく練習できるように声かけをしていく。 ・ ゲームや活動を通して、児童が何度も練習できたり、別の学習の際にも既習事項を振り返ったりして、児童が繰り返し学習内容を確かめられるようにする。また、毎時間学習したことを児童が振り返る機会を設けられるようにしていく。 ・ 絵や言葉で説明しながら、児童が発音の際の口の動きなどを確かめたり、A L Tの発音を繰り返しまねしたりする時間を確保したりしていく。